

2022 年度（令和 4 年度）大津市域における水質、大気について

1. 市内河川の水質について

大津市では昭和 53 年以来、市内主要河川（県環境基準設定河川を含めた市内 24 河川）について水質調査を実施している。令和 4 年度の水質調査結果としては、以下のとおりであった。

- ・生活環境項目：大腸菌数が 6 河川で基準を超過

代表的な水質の指標とされる BOD については全ての河川で基準を満足

- ・健康項目、要監視項目：全河川・全項目で基準を満足

※要監視項目の 1 つである PFOS・PFOA は、8 河川（和邇川、天神川、大宮川、柳川、吾妻川、相模川、大戸川、信楽川）で実施

令和 4 年度 市内河川の環境（上の）基準達成状況

河川名	生活環境項目								特殊項目		類型
	pH	DO	BOD(75%値)		SS	大腸菌数(90%値)		T-N	T-P		
北湖流入	* 滝川	○	○	○	(0.8)	○	○	(90)	○	○	AA-イ
	* 比良川	○	○	○	(0.8)	○	×	(170)	○	○	AA-イ
	* 八屋戸川	○	○	○	(0.7)	○	○	(96)	○	○	AA-イ
	* 天川	○	○	○	(1.0)	○	○	(160)	○	○	A-イ
	* 喜撰川	○	○	○	(1.1)	○	×	(340)	○	○	A-イ
	和邇川	○	○	○	(0.9)	○	○	(180)	—	—	A-ハ
	* 真野川	○	○	○	(1.1)	○	○	(160)	○	○	A-イ
南湖流入	天神川	○	○	○	(1.1)	○	○	(190)	—	—	A-ハ
	* 雄琴川	○	○	○	(1.1)	○	○	(240)	○	○	A-イ
	* 大正寺川	6/12	○	○	(1.0)	○	○	(160)	○	○	A-ハ
	大宮川	11/12	○	○	(0.8)	○	○	(170)	—	—	A-ハ
	* 際川	9/12	○	○	(1.2)	○	×	(460)	○	○	A-イ
	柳川	10/12	○	○	(0.9)	○	×	(380)	—	—	AA-ハ
	吾妻川	7/12	○	○	(0.9)	○	×	(180)	—	—	AA-ハ
	相模川	6/12	○	○	(0.9)	○	×	(130)	—	—	AA-ハ
	* 兵田川	3/12	○	○	(1.3)	○	○	(160)	○	○	A-イ
	* 長沢川	○	○	○	(1.1)	○	○	(140)	○	○	A-イ
瀬田川流入	* 盛越川	10/12	○	○	(1.1)	○	○	(90)	○	○	A-イ
	* 三田川	11/12	○	○	(1.0)	○	○	(190)	○	○	A-イ
	* 多羅川	○	○	○	(0.8)	○	○	(130)	○	○	A-イ
	* 千丈川	○	○	○	(0.9)	○	○	(260)	○	○	A-イ
	大戸川 上	○	○	○	(0.9)	○	○	(170)	—	—	A-イ
	下	○	○	○	(0.8)	○	○	(110)	—	—	A-イ
	信楽川 上	○	○	○	(0.7)	○	○	(160)	—	—	A-イ
	下	○	○	○	(0.8)	○	○	(96)	—	—	A-イ
	* 大石川	○	○	○	(0.9)	○	○	(170)	○	○	A-イ

注 1 *は環境上の基準の類型指定河川（市河川）、それ以外は環境基準の類型指定河川（県河川）。

注 2 生活環境項目のうち、BOD については 75%水質値を基準値とし、大腸菌数については 90%水質値を基準値とする。それ以外の項目は日間平均値を基準値とする。（75%(90%)水質値：測定されたデータ N 個を数値の小さい順に並べた際に $N \times 0.75(0.90)$ 番目に位置する値）

達成状況欄の数字は全測定回数のうち達成した回数を示し、○は全て達成、×は全て未達成を示す。

注 3 特殊項目（市河川のみ）は年間平均値を基準値とする。

達成状況欄は年平均値の基準達成状況を示し、○は達成、×は未達成を示す。

2. 市内の大気について

- ・ 大津市では大気汚染の実態を把握するために、大気汚染常時監視測定局を設置し、自動測定機による常時監視を実施している。(一般環境大気測定局 4 か所、自動車排出ガス測定局 3 か所)

大気汚染常時監視測定局位置図



測定項目及び基準達成状況一覧

名称	下阪本	藤尾	堅田	膳所	石山	逢坂	上田上
測定項目							
二酸化窒素	○	○	○	△	○	○	○
一酸化炭素	△	△	△	△	○	○	○
光化学オキシダント	×	△	×	×	×	△	△
炭化水素	△	△	△	△	△	○	△
浮遊粒子状物質	○	○	○	△	○	○	○
微小粒子状物質	△	△	○	△	○	○	△

注 1：○は達成、×は未達成を示す。注 2：炭化水素は指針値。

- ・ 令和 4 年度は、光化学オキシダントの項目において環境基準を満たしていなかった。その他の環境基準が設定されている項目についてはすべて達成していた。また、年度や測定局で多少の変動はあるものの、近年ではすべての項目の値が横ばいで推移している。

※光化学オキシダントについては、気象条件に大きく左右され、春～夏の紫外線が強くて気温が高く、風の弱い日に高濃度になることが知られている。

- ・ 令和 4 年度の光化学スモッグ注意報について、市内監視局では注意報発令の目安とされている 0.12ppm を超過することはなかった。
- ・ 微小粒子状物質 (PM2.5) 注意喚起については、平成 25 年 3 月の調査開始以来、大津市域で発令された実績はない。

光化学スモッグ注意報発令回数の経年変化

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
発令回数	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0